

平成22年11月9日

## 活況に沸く中国電動自転車業界、前年比 20.2%増 家電下郷政策が奏効

中国工業情報化省の発表によると、今年1-8月の電動自転車の生産台数は前年に比べ20.2%増の683.2万台、8月は26.2%増の101.3万台と大幅に増加したことが判った。さらに1-8月の累計販売状況については、金額そのものは発表されていないが、前年同期比で21.91%増、8月は19.22%増、そして生産台数に対する販売率は98.76%だった(注1)。2007年以降、漸増傾向となっていた生産が勢いを取り戻したようだ。(注1:年間販売額が500万元以上の企業が対象)

出展製品の殆どが電動自転車である「中国江蘇国際自転車、電動車交易会」(中国江蘇省南京市で2010年10月22日から24日まで開催)においても、今年は例年になく多数の参観者が集まり会場は熱気に包まれていた。



この活況の背景には今年の3月、家電下郷政策において電動自転車が対象製品となったことが挙げられる。家電下郷とは、2009年2月から開始された中国政府による農村部の家電製品普及率の向上を通じた消費刺激策である。テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など政府がメーカーと機種を認定し、販売価格の13%を補助するという政策であり、電動自転車に対しては最大で260元補助されることになった。(自転車業界では特に「電動車下郷」と呼ぶ向きもある。)

電動自転車を家電下郷の品目として選択したのは、31 の省・直轄市・自治区のうち 10 省である。250 社が応募に対し認定されたのは 144 社、認定製品の型式は 1000 種類以上だった。日系メーカーでは無錫川村自転車有限公司が江蘇省で認定された。

省	認定企業数
河北省	46
山西省	37
江蘇省	52
安徽省	30
江西省	27
山東省	55
河南省	43
湖北省	30
雲南省	36
陝西省	20
合計	376

(出所：江蘇省自転車電動車協会)

### ●電動自転車の販売金額が自転車を超える

電動自転車が統計上に現れたのは 1998 年、それ以降急速に普及し、江蘇省自転車電動車協会によると、全国の 2009 年の自転車販売台数 8,000 万台、販売金額 250 億元～280 億元に対し、電動自転車の販売台数はその三分の一以下の 2,369 万台であるが、販売金額は 300 億元以上となり、ついに 2009 年、電動自転車は販売額で自転車を超えたということである。因みにオートバイの 2009 年の販売金額は 1,089.51 億元、販売台数は約 2,750 万台なので、今年あたり数の上でオートバイを超える可能性がある(注 2)。

一方、自転車については工業情報化省によると、今年 1-8 月の累計生産台数は前年同期比 14.4%増の 3,971 万台、8 月単月の生産台数は前年同期比 5.2%増の 518.8 万台となり、電動自転車ほどではないが好調に推移している。

(注 2:)販売金額出所:中国汽車工業協会、販売台数出所:中国産業研究報告網

尚、前述の江蘇省の展示会は、400 社以上の企業が出展、出展ブース数は 1,600 を超えて、これまでで最大の規模となったと主催者は発表している。

(展示会データ)

名 称：中国江蘇国際自転車、電動車及び部品交易会  
 会 期：2010 年 10 月 22 日(金)～24 日(日)  
 場 所：江蘇省南京市 南京国際展覧中心  
 主 催：江蘇省自転車電動車協会、江蘇省自転車有限公司  
 中国自転車協会助力車專業委員会、江蘇省交通安全協会  
 テ ー マ：新しい思考、新しい境地、新しい価値

会場面積: 5万平方メートル  
出展企業数: 約400社(前年比11.4%増)  
参観者数: 約5万人(概算)

(事務局発表数値)

(上海事務所)



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。

